

乙 貞

第116号 通巻21巻 第1号
2001年5月10日 発行

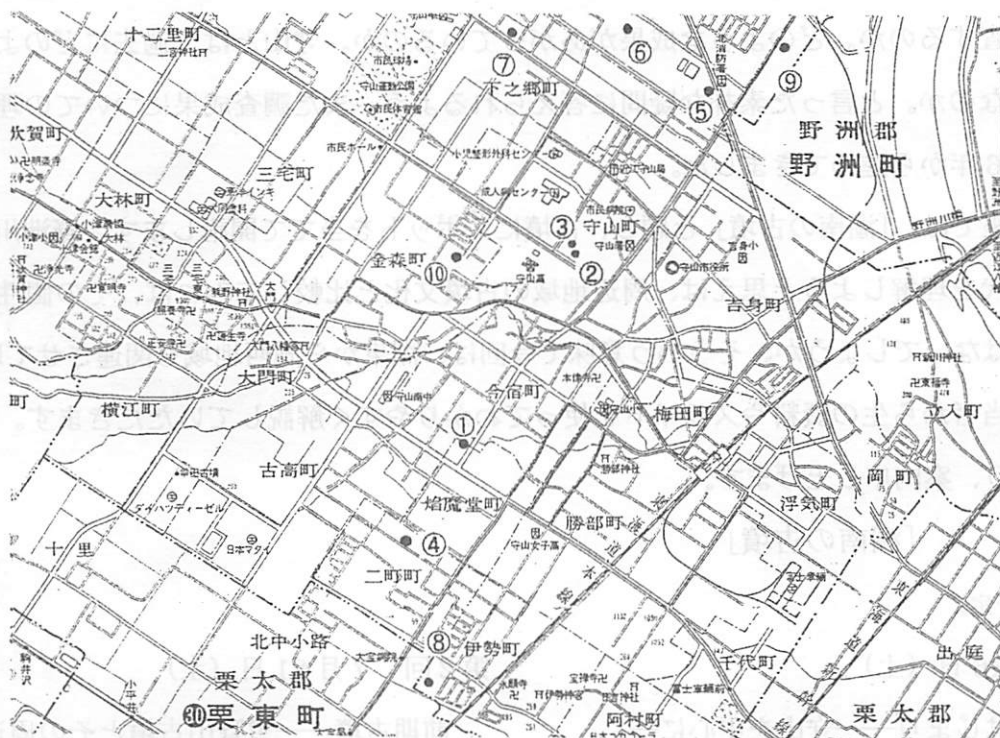
守山市立埋蔵文化財センター
☎・fax 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町2250番地

☆新年度の発掘調査がはじまる☆

埋蔵文化財センターの周囲に広がる田んぼにいなえも、稲苗が植えられ、水面に浮かぶ新芽が揺らいでいます。

さて、新年度の調査もはじまりました。この機関誌『乙貞』では、市内各所で進められる遺跡の調査成果や



市内遺跡調査一覧

- ①古高・経田遺跡
- ②吉身西遺跡
- ③吉身西遺跡
- ④二町鏡遺跡
- ⑤酒寺遺跡
- ⑥酒寺遺跡
- ⑦下之郷遺跡
- ⑧伊勢遺跡
- ⑨播磨田東遺跡
- ⑩金森東遺跡

発掘情報をいち早く市民の皆様にお伝えできるよう頑張っていきたいと思ひます。上の地図は、これから進められる発掘調査の場所を示したものです。①の古高・経田遺跡は先年11月から調査着手した現場で、区画整理事業に伴う事前の発掘を進めています。②は民間の開発事業。③④は、個人専用住宅の建築に先立つもので、⑤⑥は、播磨田町地先で行った民間店舗建築に伴う酒寺遺跡の調査現場です。⑦⑧⑨⑩は、これから調査に入る場所です（右上一覧参照）。⑩の金森（東）遺跡は、広い範囲を区画整理するため、事前に道路部分を発掘するものです。長期にわたり調査を進めます。いずれもこれから調査が本格化するもので、どのような発見があるか楽しみです。近辺を通られる折には、気軽に声をかけて下さい。

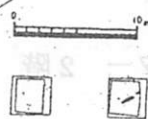
☆発掘調査だより☆

1, 酒寺遺跡 第50次調査

湖南消防組合北消防署の西側で、店舗の新築工事に先立ち発掘調査を実施しました。造成土、耕作土の下には黒褐色の土がほぼ全体に厚く堆積しており、それを取り除いたら土坑、ピットが数基見つかりました。遺構は出土した土

ラポート

道路



(建物基礎部分のみ調査)

取付け道路

目次

・新年度の発掘調査	1p
・酒寺遺跡の発掘調査	1p 2p
・入門講座のご案内	2p
・文化財の窓	3p
・友の会会員募集	4p

器から弥生時代中期頃で、近接する二ノ畦・横枕遺跡とほぼ同時期と考えられます。遺構の密度が薄いことから、大集落である二ノ畦・横枕遺跡の周辺部か酒寺遺跡の外縁部であったことが考えられます。

歴史入門講座のご案内

(大岡)

守山市内には、縄文時代早期から江戸時代にかけての遺跡が144ヶ所もあります。「えー、そんなに
あるのか」と驚かれる方もあるかもしれませんが、私たちが生活や仕事をしている場所のすぐ近くでも、
遺跡が見つかっています。遺跡を調査すると、その地で生活した人達の生き方や考え方などが考古学と
いう学問を通じて明らかにされることがあります。埋蔵文化財センターの歴史入門講座では、どのよう
にして遺跡を調査するのか。どのような成果があがっているのか。守山とは、過去にどのような歴史を
持った「まち」なのか。と言った素朴な疑問に答えられるよう、また調査成果についての理解を深めて
頂けるよう平成6年から進めてきました。

今年の入門講座では、「湖南の古墳」と題し、古墳にスポットを当てて開講します。野洲川流域、そし
て守山の古墳時代を理解しようと思えば、周辺地域の古墳文化と比較してみれば、その個性が浮かび上
がってくるのではないのでしょうか。そういう意味で今回は、湖東から湖西地域も関連させて取り上げ、
各市町の調査担当者から生の資料やスライドを使ってわかりやすく解説していただきます。ふるってご
参加くださるよう、案内申し上げます。

全体テーマ 「湖南の古墳」

1. 講座日程〔予定〕

第1回 6月16日(土)

古墳時代のはじまり——守山を中心に——

講師 伴野幸一(守山市教育委員会)

第2回 7月21日(土)

前期古墳——雪野山古墳とその周辺——

講師 石原道洋(八日市市教育委員会)

第3回 8月18日(土)

野洲郡の古墳——大岩山古墳群——

講師 杉本源造(野洲町教育委員会)

第4回 9月22日(土)

栗太郡の古墳 講師 近藤 広

(〔財〕栗東町文化体育振興事業団)

第5回 10月20日(土)

湖西地域の古墳

講師 松浦俊和(大津市歴史民俗博物館)

第6回 12月15日(土)

守山の古墳とその周辺——現地見学——

講師 畑本政美(守山市教育委員会)

2. 受講料

1,000 円

3. 時 間

午前10時から12時まで

4. 受講場所

守山市立埋蔵文化財センター 2階 会議室

5. 定 員

先着 50 名

6. 申し込み方法

埋蔵文化財センターに電話かファックス、有線で申し込み下さい。

☎・Fax 077-585-4397 有線 585-4397

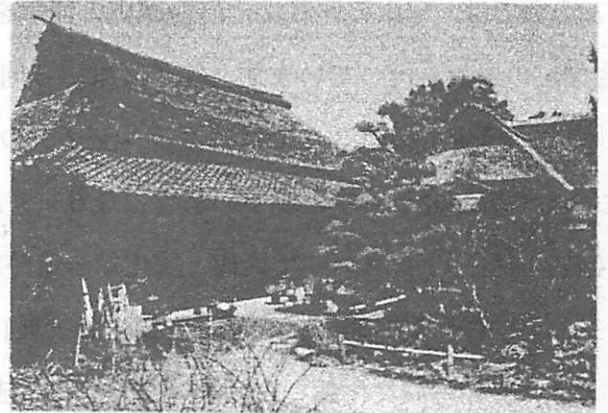
☆文化財の窓☆

大庄屋諏訪家屋敷

— 守山市指定文化財（史跡） —

今回は、守山市指定文化財・大庄屋諏訪家屋敷（史跡）

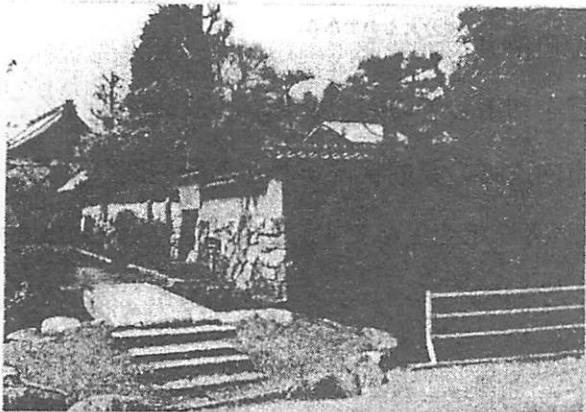
で平成 10～12 年度の 3 か年にわたって行われた修理工事がこの 3 月で完了したので紹介いたします。諏訪家屋敷は主屋、書院、茶室、土蔵の建造物と庭園などで構成されていて、江戸時代後期の格式ある大庄屋建築を今に残す貴重な文化財であるため史跡として指定されています。守山市赤野井町のほぼ中央に所在しており、近接する赤野井東、



（主屋と書院）

西別院など 4 ケ寺の真宗寺院の本堂が軒を連ねている景観

からは、当地域が近在の文化的中心地であったことを窺うことができます。諏訪家の歴史については、暦応 3 年（1340）年、信州の武将・諏訪大進房円忠が足利尊氏の命を受けて、この地域の地頭に赴任してきたことに始まると伝えられています。その後、赤野井に定着し、江戸時代には一帯の小津郷大庄屋を勤めるなどして今日に至っています。諏訪家屋敷の建物群は 19 世紀初めの建立時期が考えられています。これまでも幾度かの修理を経ていますが、平成 10 年度は土蔵、11 年度は表門、そして 12 年度は土塀と通用門、主屋屋根、露地門、高塀の修理が行われ、この 3 月に 3 年に及ぶ工事が完了しました。土蔵は、平成 9 年の台風により屋根瓦が大きくズレ落ち、雨もれが生じていたため修理をしました。修理では古材を出来るだけ残し、古い形や技法を残すよう行いました。また、扉や床も大きくゆがんでいたため、同時に修理しました。表門は、屋根と柱、くぐり戸を中心に修理をしました。屋根裏には、江戸時代の享保年間（1716～1735）に修理を受けたことのわかる棟札が発見され、明治 15 年に再建、36 年に修理されたことが明らかになりました。平成 12 年の修理は、土塀、通用門、主屋屋根、露地門、高塀が対象でした。土塀は長年の風雨により瓦が落ち、土も剥落していたため、石積みから上の部分を全面改修しました。改修前の土塀は粘土の版築でしたが、コンクリート造としました。露地門は根継ぎと屋根瓦、高塀は全面土造りで復元しました。主屋屋根は雨漏れ改修と南側軒部の改修をしました。通用門は改修途中で大きく破損しかけたため、急きょ屋根瓦の葺き直して応急修理



（諏訪家遠景）

をしました。諏訪家屋敷へは、赤野井集落内を流れる堂川に架けられた石橋を渡ります。土塀を右手に見ながら苦蒸した通路を進むと表門に達し、右に折れて門をくぐり石畳を進むと、正面に葭葺の母屋が、右手に書院が見え、時代を錯誤する光景が広がります。以上が修理完了となった諏訪家屋敷ですが、建物そのものに加えて庭園などの外部空間の演出も含めた空間としての貴重な文化的価値を持っています。

なお、諏訪家屋敷見学には事前の申し込みが必要です。

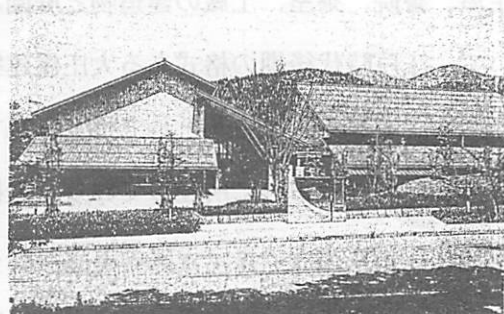
友の会 会員募集

市立埋蔵文化財センターでは友の会会員を募集しています。

友の会では、守山の埋蔵文化財や歴史の理解を深めるため発掘現場や博物館の見学、講演会や体験学習会などの催しを行っています。昨年度は、6回の見学会を催し、また市制施行30周年記念事業特別展「守山の歴史を掘る3」では、ボランティアの展示説明員として活躍しました。昨年度の見学先を報告も合わせて紹介しますと以下ようになります。(昨年度の見学地)

(第1回目) 5月 美術館・文化館・遺跡などの見学会

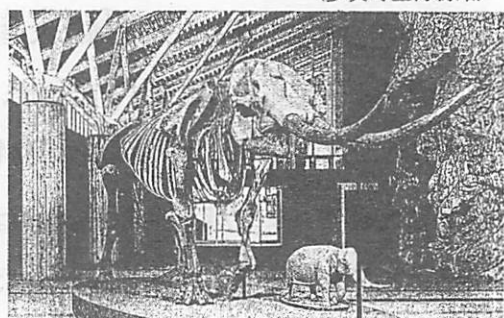
- ・ 佐川美術館 企画展「青銅器名宝展」
- ・ 琵琶湖文化館 企画展「さざなみの志賀ー穴太廃寺ー」
- ・ 大津市埋蔵文化財センター、衣川廃寺〔国史跡〕



(多賀町立博物館)

(第2回目) 6月 博物館などの見学会

- ・ 多賀町立博物館 (あけぼのパーク多賀)
- ・ 多賀大社・甲良神社など



(第3回目) 7月 博物館などの見学会

- ・ 湖東町歴史民俗資料館
- ・ 安土城考古博物館 (講座「奈良県飛鳥池遺跡の木簡」)



(昨年度の見学地)

(第4回目) 9月 県外研修ー岐阜市歴史博物館

- ・ 文化財保護法50周年記念 (新発見考古速報展)
「発掘された日本列島2000」の見学

(第5回目) 10月 遺跡・有形文化財の見学

- ・ 信楽町新宮神社遺跡
- ・ 水口町歴史民俗資料館、水口城資料館

(第6回目) 3月 古墳・宿場町の見学

- ・ 能登川町「神郷亀塚古墳」
- ・ 米原町醒井宿資料館

いずれの回も30人程度の参加者が集まり、市有バスなどを利用したの楽しい見学や研修を受けることができました。また会員になりますと、各種の催し物や市内遺跡の発掘状況がわかる機関誌「乙貞」がお手元に届くこととなります。今年度も楽しく学べる企画が盛りだくさんです。入会は、年間会費2000円で、詳しくは市立埋蔵文化財センターまでお問い合わせください。

----『編集後記』----

ゴールデンウィークは仕事から解放されたというよりも、蓄えていた宿題の山を片付けていくのにおおわらわ。気晴らしに散歩に出れば田植え景色。土の匂いと水の匂い、風に吹かれて蛙の声。(k記)